

平成 27 年 度 山形市社会福祉事業団受託施設等 事業報告書

1 事 務 局

(1) 理事会の開催

- ① 第158回理事会（5月26日）……山形商工会議所会館
（審議事項）
 - 平成26年度事業報告について
 - 平成26年度一般会計決算及び特別会計決算の認定について
 - 平成27年度補正予算について
 - 蔵王通勤寮運営規程の一部改正について
 - 山形市養護老人ホームあたご荘運営規程の一部改正について
 - 評議員の選任について
- ② 第159回理事会（7月1日）……山形市役所
（審議事項）
 - 評議員の選任について
- ③ 第160回理事会（7月22日）……山形グランドホテル
（審議事項）
 - 副理事長の選任について
 - 平成27年度補正予算について
 - 指定介護老人福祉施設菅沢荘運営規程の一部改正について
 - 指定短期入所生活介護事業所（指定介護予防短期入所生活介護事業所）菅沢荘運営規程の一部改正について
 - 指定通所介護事業所菅沢デイサービスセンター（通常型）運営規程の一部改正について
 - 指定介護予防通所介護事業所菅沢デイサービスセンター（通常型）運営規程の一部改正について
 - 指定通所介護事業所菅沢デイサービスセンター（認知症型）運営規程の一部改正について
 - 指定介護予防通所介護事業所菅沢デイサービスセンター（認知症型）運営規程の一部改正について
 - 指定居宅介護支援事業所すげさわ運営規程の一部改正について
 - あたご荘外部サービス利用型特定施設運営規程の一部改正について
 - あたご荘外部サービス利用型特定施設（介護予防）運営規程の一部改正について
 - 指定訪問介護（介護予防訪問介護）事業所ヘルパーステーションあたご運営規程の一部改正について
 - 指定居宅介護支援事業所あたご荘運営規程の一部改正について
 - 指定通所介護事業所山形市銅町デイサービスセンター運営規程の一部改正について
 - 指定介護予防通所介護事業所山形市銅町デイサービスセンター運営規程の一部改正につ

いて

- 指定居宅介護支援事業所どうまち運営規程の一部改正について
- ④ 第161回理事会（7月31日）……持ち回り理事会
（審議事項）
 - 指定介護老人福祉施設菅沢荘運営規程等の一部を改正する規程について
- ⑤ 第162回理事会（12月11日）……山形商工会議所会館
（審議事項）
 - 平成27年度補正予算について
 - 特定個人情報取扱規程の制定について
- ⑥ 第163回理事会（2月26日）……山形市役所
（審議事項）
 - 指定通所介護事業所菅沢デイサービスセンター山形市介護予防・日常生活支援総合事業における通所型サービス（現行相当）運営規程の制定について
 - 指定訪問介護事業所ヘルパーステーションあたご山形市介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型サービス（現行相当）運営規程の制定について
 - 指定通所介護事業所山形市銅町デイサービスセンター山形市介護予防・日常生活支援総合事業における通所型サービス（現行相当）運営規程の制定について
- ⑦ 第164回理事会（3月25日）……山形市役所
（審議事項）
 - 平成27年度補正予算について
 - 平成28年度事業計画について
 - 平成28年度資金収支予算について
 - 特定個人情報取扱規程の一部改正について
 - 指定介護老人福祉施設菅沢荘運営規程等の一部を改正する規程について
 - 指定短期入所生活介護事業所（指定介護予防短期入所生活介護事業所）菅沢荘運営規程の一部改正について

(2) 役員の異動について

① 理事の異動について

就任 五十嵐光彦 平成27年7月21日

就任 齋藤 順治 平成27年10月30日

退任 小関 仁美 平成27年7月20日

退任 瀧井 潤 平成27年9月27日

② 監事の異動について

就任 佐藤 玲子 平成27年7月21日

退任 井上 徹夫 平成27年7月20日

(3) 評議員会の開催

- ① 第66回評議員会（5月26日）……山形商工会議所会館
（審議事項）
 - 平成26年度事業報告について
 - 平成26年度一般会計決算及び特別会計決算の認定について
 - 平成27年度補正予算について
 - 蔵王通勤寮運営規程の一部改正について
 - 山形市養護老人ホームあたご荘運営規程の一部改正について
- ② 第67回評議員会（7月1日）……山形市役所
（審議事項）
 - 役員の選任について
- ③ 第68回評議員会（7月22日）……山形グランドホテル
（審議事項）
 - 平成27年度補正予算について
 - 指定介護老人福祉施設菅沢荘運営規程の一部改正について
 - 指定短期入所生活介護事業所（指定介護予防短期入所生活介護事業所）菅沢荘運営規程の一部改正について
 - 指定通所介護事業所菅沢デイサービスセンター（通常型）運営規程の一部改正について
 - 指定介護予防通所介護事業所菅沢デイサービスセンター（通常型）運営規程の一部改正について
 - 指定通所介護事業所菅沢デイサービスセンター（認知症型）運営規程の一部改正について
 - 指定介護予防通所介護事業所菅沢デイサービスセンター（認知症型）運営規程の一部改正について
 - 指定居宅介護支援事業所すげさわ運営規程の一部改正について
 - あたご荘外部サービス利用型特定施設運営規程の一部改正について
 - あたご荘外部サービス利用型特定施設（介護予防）運営規程の一部改正について
 - 指定訪問介護（介護予防訪問介護）事業所ヘルパーステーションあたご運営規程の一部改正について
 - 指定居宅介護支援事業所あたご荘運営規程の一部改正について
 - 指定通所介護事業所山形市銅町デイサービスセンター運営規程の一部改正について
 - 指定介護予防通所介護事業所山形市銅町デイサービスセンター運営規程の一部改正について
 - 指定居宅介護支援事業所どうまち運営規程の一部改正について
- ④ 第69回評議員会（12月11日）……山形商工会議所会館
（審議事項）
 - 平成27年度補正予算について
 - 特定個人情報取扱規程の制定について

⑤ 第70回評議員会（3月25日）……山形市役所

（報告事項）

- 指定通所介護事業所菅沢デイサービスセンター山形市介護予防・日常生活支援総合事業における通所型サービス（現行相当）運営規程の制定について
- 指定訪問介護事業所ヘルパーステーションあたご山形市介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型サービス（現行相当）運営規程の制定について
- 指定通所介護事業所山形市銅町デイサービスセンター山形市介護予防・日常生活支援総合事業における通所型サービス（現行相当）運営規程の制定について

（審議事項）

- 平成27年度補正予算について
- 平成28年度事業計画について
- 平成28年度資金収支予算について
- 特定個人情報取扱規程の一部改正について
- 指定介護老人福祉施設菅沢荘運営規程等の一部を改正する規程について
- 指定短期入所生活介護事業所（指定介護予防短期入所生活介護事業所）菅沢荘運営規程の一部改正について

(4) 評議員の異動について

就任	加藤 昌宏	平成27年5月26日
就任	青嶋智重子	平成27年7月21日
就任	阿部 正敏	平成27年7月21日
就任	鈴木 靖子	平成27年7月21日
就任	高野 俊子	平成27年7月21日
就任	長岡 和博	平成27年7月21日

退任	池野 勇男	平成27年7月20日
退任	伊豆田邦雄	平成27年7月20日
退任	音山 幸子	平成27年7月20日
退任	神尾 智江	平成27年7月20日
退任	田代 久男	平成27年7月20日

(5) 職員の採用について

- ① 平成27年4月1日付で指導員・相談員1名、准看護師1名及び介護員5名を採用した。
- ② 平成27年9月19日に職員の配置増員及び欠員補充に伴う職員採用試験を実施し、下記のとおり合格者を内定した。

職 種 名	応 募 者 数	受 験 者 数	合 格 者	補 欠 合 格 者
指導員・相談員	16名	12名	4名	2名
介護員(一般)	8名	8名	5名	0名
介護員(内部登用)	3名	3名	1名	0名

③ 平成28年2月1日付で看護師1名を採用した。

(6) 指定管理者の指定について

平成28年度以降も引き続き指定管理者の指定を受けるため、指定申請の手続きを行い、まんさくの丘等6施設の指定管理者として、山形市より平成28年度から5年間の指定を受けた。

(7) 情報公開について

なし

(8) 苦情解決について

① 第三者委員会の開催

- 事業団本部開催 1回

(9) 障がい者の雇用促進について

まんさくの丘、菅沢荘、あたご荘及び銅町デイサービスセンターにおいて障がい者6名を雇用し、障がい者の雇用促進に努めた。

(10) 事業団ホームページの運営について

事業団ホームページの運営を行い、事業団及び運営施設の紹介、イベント情報、採用情報及び運営状況の発信など情報の公開に努めた。

2 土地・建物の状況

(1) まんさくの丘

• 土地 19,174.52㎡

所 在		地 番	地 目	地 積	
大 字	小 字			公 簿 ㎡	実 測 ㎡
蔵王半郷	寺 山	1,366~2	宅 地	11,533.88	16,644.62
蔵王半郷	寺 山	910	宅 地	178.51	178.51
蔵王半郷	寺 山	927~3	宅 地	120.56	120.56
蔵王半郷	寺 山	1,366~14	宅 地	214.87	214.87
蔵王半郷	寺 山	1,366~15	宅 地	1,024.39	1,024.39
蔵王半郷	寺 山	1,409~3	宅 地	109.32	109.32
蔵王半郷	寺 山	1,409~4	宅 地	238.81	238.81
蔵王半郷	寺 山	1,674~2	原 野	163.00	163.04
蔵王半郷	寺 山	1,597~2	畑	246.00	246.96
蔵王半郷	寺 山	1,601~3	畑	233.00	233.44
合 計				14,062.34	19,174.52

• 建 物 2,757.24㎡

1	管 理 棟	696.85㎡
2	こまくさ学 園	544.20
3	恵 光 園	481.95
4	蔵王通 勤 寮	842.34
5	車 庫	100.00
6	車 庫	34.78
7	倉 庫	33.12
8	駐 輪 場	24.00
合 計		2,757.24

(2) 山形学園

• 土地 21,687.39㎡ (ただし、蔵王上野字南坂924より2,190.00㎡を除く)

所 在		地 番	地 目	地 積	
大 字	小 字			公 簿 ㎡	実 測 ㎡
蔵王上野	南 坂	924	宅 地	10,845.78	15,265.32
蔵王上野	南 坂	2,104	宅 地	2,776.82	3,635.51
蔵王上野	南 坂	914~3	原 野	192.68	206.17
上 野	南 坂	912~2	公衆用道路	249.00	249.38
上 野	南 坂	912~3	公衆用道路	26.00	26.02
上 野	南 坂	927~4	公衆用道路	657.00	657.64
上 野	南 坂	998~4	雑 種 地	58.00	58.08
上 野	南 坂	998~5	公衆用道路	385.00	385.39
上 野	南 坂	1,012~4	雑 種 地	339.00	339.84
上 野	南 坂	1,012~5	公衆用道路	520.00	520.36
上 野	南 坂	2,683~6	雑 種 地	91.00	91.99
上 野	南 坂	2,683~7	公衆用道路	251.00	251.69
合 計				16,391.28	21,687.39

• 建 物 1,702.69㎡

1	山 形 学 園	1,293.52㎡
2	体 育 館	319.25
3	渡 り 廊 下	38.48
4	倉 庫	38.00
5	自 転 車 置 場	13.44
合 計		1,702.18

(3) 特別養護老人ホーム菅沢荘

• 土地 30,138.08㎡

所 在		地 番	地 目	地 積	
大 字	小 字			公 簿 ㎡	実 測 ㎡
菅 沢		46	宅 地	30,138.08	30,138.08
合 計				30,138.08	30,138.08

• 建 物 5,123.49㎡

1	菅 沢 荘	4,987.33㎡
2	車 庫	122.59
3	バ イ ク 置 場	13.57
合 計		5,123.49

(4) 養護老人ホームあたご荘

• 土 地 12,779.48㎡ (ただし、360.325㎡を除く)

所 在		地 番	地 目	地 積	
大 字	小 字			公 簿 ㎡	実 測 ㎡
大字岩波	字鬼越	8	宅 地	856.00	966.21
大字岩波	字鬼越	8-1	宅 地	852.89	911.15
大字岩波	字鬼越	575-3	宅 地	188.42	236.72
大字岩波	字鬼越	17	宅 地	1,246.28	1,268.47
小 立	四丁目	5	宅 地	790.08	846.68
大字岩波	字鬼越	29-3	宅 地	168.00	168.00
大字岩波	字鬼越	4-1	宅 地	651.23	712.86
大字岩波	字鬼越	446-1	宅 地	1,018.79	1,205.40
大字岩波	字鬼越	447-1	宅 地	436.38	564.38
大字岩波	字鬼越	7-2	宅 地	610.86	642.13
大字岩波	字鬼越	7-1	宅 地	377.56	423.00
大字岩波	字鬼越	14-2	宅 地	491.00	491.36
大字岩波	字鬼越	18-3	宅 地	1,246.12	1,246.66
大字岩波	字鬼越	29-4	宅 地	186.55	186.55
大字岩波	字鬼越	30-2	宅 地	33.27	33.27
大字岩波	字鬼越	3-1	宅 地	3,728.20	1,617.41
大字岩波	字鬼越	4-2	宅 地	307.43	133.37
大字岩波	字鬼越	14-3	宅 地	11.13	11.13
大字岩波	字鬼越	16-1	宅 地	634.67	586.58
大字岩波	字鬼越	16-2	宅 地	102.13	102.13
大字岩波	字鬼越	16-5	宅 地	26.58	26.58
大字岩波	字鬼越	17-1	宅 地	61.25	61.25
大字岩波	字鬼越	18-6	宅 地	4.53	4.53
大字岩波	字鬼越	18-7	宅 地	6.63	6.63
大字岩波	字鬼越	446-4	宅 地	112.94	112.94
大字岩波	字鬼越	446-5	宅 地	23.55	23.55
大字岩波	字鬼越	3-9	宅 地	141.66	93.81
大字岩波	字鬼越	4-3	宅 地	143.03	96.73
合 計				14,457.16	12,779.48

• 建 物 4,177.95㎡

1	老 人 ホ ー ム	4,140.40㎡
2	休 憩 所	13.25
3	共 同 作 業 所	13.50
4	倉 庫 ・ 物 置	10.80
合 計		4,177.95

(5) 山形市銅町デイサービスセンター

• 土 地 1,713.03㎡

所 在		地 番	地 目	地 積	
大 字	小 字			公 簿 ㎡	実 測 ㎡
銅 町	二丁目	19-5	宅 地	7,066.51	1,713.03
合 計				7,066.51	1,713.03

• 建 物 813.63㎡

1	デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー	813.63㎡
合 計		813.63

3 受託施設等の運営について

I まんさくの丘

平成25年4月に障害者総合支援法が施行、平成26年からは障害支援区分の創設、ケアホームのグループホームへの一元化などが実施され、平成27年度は障害福祉サービス等の報酬改定がなされた。また、障害者虐待防止法、障害者差別解消法等が施行され、利用者の権利擁護の制度が整備された。

こうした障がい者福祉を取り巻く大きな変化の中で、それぞれの事業の特性を活かしながら総合福祉施設として、社会的な役割を果せるよう各施設が連携を図りながら運営に努めた。

① 総合施設の優位性を生かす取組み

- まんさくの丘調整会議を毎月2回実施し、それぞれの事業の有機的な連携と調整を図り、効果的な事業の運営に努めた。
- 職員全体で、研修・給食・地域福祉・防災・環境整備・倫理・衛生・リスクマネジメントの8つの委員会を組織して各委員会が諸活動に取り組み、利用者への福祉サービスの向上と施設の運営の活性化を図った。
- 「まんさくの丘保護者会」と連携し、各種行事による地域との交流や施設の環境整備等を実施した。

② 災害防止対策

- 安心かつ安全な施設をめざし、火災や自然災害に備えて、まんさくの丘全体として総合防災訓練を年2回、避難訓練を毎月実施した。
- 施設内の事故を防止するため、毎月、安全点検を行い必要に応じて対策を講じた。
- 通所・通勤途上の事故を防止するため、交通安全指導及び安全対策の充実を図った。
- 行事等による施設内外での事故や災害の発生に備え、損害保険に加入した。
- 感染症の予防及び拡大の防止に向け、施設間で連携しながら取り組んだ。2月、3月のインフルエンザの流行については、嘱託医、保健所と協議し対応を図った。

③ 地域社会との交流

- 地域社会との交流を深め、理解と協力を得るため、「地域福祉懇談会」や「まんさくの丘まつり」を開催し、親しみのある開かれた施設づくりに努めるとともに、町内会が主催する「蔵王地区まつり」に参加し、地域との交流を図った。

(1) 児童発達支援センター こまくさ学園

小集団の中で一人ひとりの発達に応じた丁寧な療育を基本に、情緒の安定、身辺の自立、運動発達、コミュニケーション手段の獲得、集団適応などの成長発達を促し、幼児期に必要な基本的なソーシャルスキルを一人ひとりが可能な限り獲得できるよう支援に努めた。

さらに保護者に対して利用の「満足度」「意見・要望」等のアンケート調査を年2回実施し、その都度改善を図りながら施設における福祉サービスの質の向上に努めた。

また、地域療育の拠点としての役割を果たすため、相談支援の充実を図りながら、保育所や保健センター等の施設支援や研修事業を実施し、地域支援の充実に努めた。

① 利用の状況 (平成28年3月31日現在)

定員	平成26年度末 在籍者	年度中の増減			平成27年度末 在籍者
		入所	退所	増減	
30人	35人	14人	13人	1人	36人(男32 女4)

② 年齢構成 (平成28年3月31日現在)

在籍者	0～2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	平均年齢
36人	0人	0人	7人	12人	17人	5.6歳

③ 障がい程度状況 (平成28年3月31日現在)

在籍者	最重度	重度	中度	軽度
36人	0人	14人	15人	7人

④ 通園バスの運行状況 (平成28年3月31日現在)

区分	定員	利用者	乗降地点	走行キロ数(1日平均は平均運行距離)	
				年間	1日平均
2号車	21人補8人	16人	7ヵ所	18,559km	77.3km

⑤ 療育内容

○療育全般

- 遊びや運動を通して、職員と子どもとの間に信頼関係を築きながら、子どもの心の動きを理解するよう努め、その気持ちを尊重しながら、社会性や言語の獲得、基礎体力づくり、基本的な対人関係の確立など幼児期の発達に必要な療育を行った。

○生活習慣の自立

- 衣服の着脱・食事・排泄など生活習慣の自立に向けての療育を行った。

⑥ 健康衛生管理

- 毎月身体測定(身長・体重)を実施するとともに、嘱託医との連携を図りながら健康管理に努め、各科検診(内科、眼科、耳鼻科、歯科)を年2回実施した。また、歯科衛生士による歯磨き指導やフッ素塗布を実施した。

⑦ 交流保育

- 近隣の幼稚園との積極的な交流保育を通して、互いの心の交流や生活体験の促進に努めた。

⑧ クラス別活動

- 個々のクラスにおいて、毎月の活動計画に基づき少集団での課題活動を行った。

⑨ 行事

- 季節に応じた催しを経験することにより、自然や季節を体感したり、様々な社会体験により、適応力や協調性を養うため、次の行事を実施した。

月	行事内容
4月	入園式、お花見
5月	社会見学(山形県立博物館)、乗馬体験、ドッグセラピー
6月	プール開き
7月	合宿(1泊2日)、七夕、バスハイク(仙台うみの杜水族館)

8月	夏のつどい
9月	遠足（山寺）、まんさくの丘まつり
10月	親子レクリエーション、乗馬体験、ドッグセラピー
11月	給食センター見学・試食、交通安全教室
12月	クリスマス会
1月	だんご木刺し、もちつきお楽しみ会
2月	節分あそび
3月	おひなまつり、卒園式

⑩ 給食

- 給食委員会を毎月実施し、献立内容と食事摂取状況などを把握するとともに、年間計画に基づいて季節感のある給食、変化のある給食の実施に努めた。

⑪ 保護者支援

- 保護者と関わる中で、悩みや問題を少しでも解決していけるよう、日々の療育相談、連絡帳活用のほか、以下の支援を行った。
- 家庭訪問（14件） ・個人面談（各保護者年3回） ・研修会（年7回）
- 保護者茶話会（年6回） ・保護者懇親会（年2回） ・自由参観（年4回）
- 療育参観（各クラス年2回）・療育説明会（年1回）

⑫ 就学

- 保護者の意向や子どもの発達段階に応じて、教育委員会、小学校、特別支援学校などの関係機関と密接に連絡を取りながら適切な指導・支援を行った。

区分	名 称	人数	名 称	人数
就学	村山特別支援学校山形校	2名	山形市立南沼原小学校	2名
	山形大学附属特別支援学校	1名	山形市立宮浦小学校	1名
	山形市立第三小学校	2名	山形市立蔵王第一小学校	1名
	山形市立第七小学校	1名	山形市立みはらしの丘小学校	3名
	山形市立鈴川小学校	1名	山辺町立相模小学校	1名
	山形市立東沢小学校	1名	長井市立致芳小学校	1名
			合 計	17名

⑬ 卒園児支援

- 卒園児を対象に、交流・余暇活動の場として「夏のつどい」を実施した。

⑭ 災害防止

- 非常災害に備え、避難訓練10回、総合防災訓練2回及び職員の救命救急訓練を実施した。また、園内活動や園外行事などの実施にあたっては、無理のない内容・日程に配慮し計画を立て実施した。

⑮ 苦情解決

- 相談、要望などはあったが、苦情として受け付けたものはなかった。

⑩ 職員研修

ア 職場内研修

- 日時 平成27年4月1日(水) 13:00~14:30
内容 「わらべうた遊び」
講師 渡邊 裕子 氏
- 日時 平成27年4月1日(水) 14:30~16:00
内容 「症例から学ぶ~就学前の支援について」(ビデオ研修)
講師 山形県立総合療育訓練センター 小児科医 伊東 愛子 氏
- 日時 平成27年7月1日(水) 15:20~17:00
演題 「救命救急法・AED講習」(成人向け)
講師 日本赤十字社山形県支部
- 日時 平成27年7月8日(水) 15:20~17:00
演題 「救命救急法・AED講習」(子ども向け)
講師 日本赤十字社山形県支部
- 日時 平成27年9月7日(月) 15:30~17:00
演題 「理学療法について」
講師 山形県立総合療育訓練センター 理学療法士 飛田 信子 氏
- 日時 平成27年10月20日(火) 15:30~17:00
演題 「感染症について」
講師 産業医 有川 卓 氏

イ 職場外研修

- 平成27年度管理責任者指導者養成研修 9月29日~10月2日 1名
- 平成27年度児童福祉施設給食関係者研修会 10月14日 1名
- 全国児童発達支援協議会施設管理者研修会 2月26日~27日 1名
- その他 19件 47名

⑪ 実習生等の受け入れ

- 保育実習 11名
- 体験実習 2名
- 在宅看護論実習 12名
- キャリア・スタート・ウィーク 2名
- 介護等体験 2名
- 社会福祉実習 0名
- 学外演習 24名

⑫ 研修事業

ア 「ナイトセミナー」シリーズ専門講座(年3回)

対象者：保育所，幼稚園，放課後児童クラブ，療育機関，行政機関等の関係者

日 時：第1回 平成27年10月23日(金) 18:30~20:00
講 師：山形県立総合療育訓練センター 小児科医 白幡 恵美 氏
テーマ：「発達障がいを持つ子の理解と支援~気になるあの子のために~」
受講者：71名
日 時：第2回 平成27年11月13日(金) 18:30~20:00

<p>講 師：仙台白百合女子大学 人間学部人間発達学科 講師 仁藤喜久子 氏 玉川大学 教職大学院 教授 安藤 正紀 氏</p> <p>テーマ：「幼児期の遊びや運動の大切さ～ムーブメント教育・療法について～」 「ムーブメント教育概説（運動発達）」</p> <p>受講者：68名</p>
<p>日 時：第3回 平成27年12月8日（火）18：30～20：00</p> <p>講 師：臨床心理士 加藤 玲子 氏</p> <p>テーマ：「気になる子や親への支援～巡回相談から言えること～」</p> <p>受講者：75名</p>

⑱ 相談支援

ア 巡回相談

○幼児発達相談 年13回

イ 外来相談

臨床心理士による行動観察，助言，相談を行った。

○年42回 延べ59件

(2) 児童発達支援事業 ひよこ教室

発達に心配のある幼児を持つ保護者のニーズに応えるため，母子通園での小集団療育のほか，単独での小集団療育コースを定期的実施し，発達段階に応じたきめ細やかな療育を行った。

① 利用状況

- 在 籍 児 38名（対前年比－3名）
- 延べ利用者数 1,159名（対前年比－62名）
- 平均年齢 4.9歳
- 開園日数 248日
- 1日利用平均 4.7人
- 見 学 104人

② 療育内容

- 親子遊び，個別療育及び小集団療育を通じて，乳幼児の発達段階に必要な設定遊びや行事を実施した。
- 〈設定療育〉ひよこ体操，ハイハイ運動，はしごくぐり，散歩，ひもとおし，シール貼り，紙遊び，洗濯ばさみ遊び等
- 臨床心理士による外来相談を実施した。
- 保護者への相談支援を必要に応じて随時実施した。

(3) 放課後等デイサービス 風の子

小学生を対象に放課後や夏休み等の長期休暇中に療育や余暇の機会を提供し、心身両面のバランスのとれた発達を援助した。

① 利用状況

- 在籍児 41名（対前年比－4名）
- 延べ利用児数 2,100名（対前年比＋213名）
- 平均年齢 9.6歳
- 開園日数 241日
- 1日利用平均 8.7人

② 療育内容

- 放課後や長期休暇中の療育の場として、幼児期に積み残した社会性、コミュニケーション及び自主性の成長を支援した。
- 〈設定療育〉全身運動（サーキット・バランスボール等）、日常生活訓練、指先運動、クッキング、散歩、宿題等
- 保護者への相談支援を必要に応じて随時実施した。
- 随時学校や関係療育機関との連携を図った。

(4) 保育所発達相談事業

市内保育所48カ所（市立10カ所、民間立38カ所）の保育士を対象に巡回相談を実施し、発達に心配がある児童の支援方法の指導・助言を行うとともに、発達支援リーダー養成研修会等を開催し、保育所における発達支援技術の向上及び支援体制の充実に努めた。

① 相談事業

- 平成27年度巡回相談件数

区分	箇所数	延巡回数	延対応件数
市立保育所	10	19	69
民間立保育所	30	70	251
合計	40	89	320

- 平成27年度巡回相談後のフォロー件数

区分	件数
相談室	15
外来相談	43
合計	58

② 研修事業

- 発達支援リーダー養成研修会（年4回）

各保育所内の代表者に対し、研修会を開催した。講義後は、事例検討並びにグループ討議を中心とした研修を行った。

<p>日 時：第1回 平成28年1月14日（木）14：00～17：00 講 師：山形県立総合療育訓練センター 小児科医 伊東 愛子 氏 テーマ：「発達障がい支援の基本」 受講者：44名</p>
<p>日 時：第2回 平成28年1月27日（水）14：00～17：00 講 師：山形大学地域教育文化部地域教育文化学科 講師 本島 優子 氏 テーマ：「保育者と子どもの関係性～アタッチメントの視点から～」 受講者：44名</p>
<p>日 時：第3回 平成28年2月2日（火）14：00～17：00 講 師：臨床心理士 加藤 玲子 氏 テーマ：「集団の中での気になる子への支援」 受講者：44名</p>
<p>日 時：第4回 平成28年2月12日（金）14：00～17：00 講 師：山形県立保健医療大学保健医療学部作業療法学科 准教授 森 直樹 氏 テーマ：「発達障害児の理解と支援」 受講者：43名</p>

• 平成27年度事例検討会

区 分	箇 所 数	延 巡 回 数	延 対 応 件 数
市立保育所	2	2	3
民間立保育所	0	0	0
合 計	2	2	3

• 保育所発達相談事業連絡会

各保育所内の代表者に対し、発達相談事業の説明会を開催した。

平成27年5月1日（金）

③ 山形市行政分科会

関係各課（こども保育課，障がい福祉課，健康課，学校教育課）との情報共有並びに巡回相談後のフォロー体制の確認を行った。

• 第1回 平成27年8月28日（金）

• 第2回 平成28年2月12日（金）

(5) 生活介護事業 恵光園

• 利用される方々一人ひとりの希望や適性を尊重するとともに、安心して様々な生活体験を積める活動環境づくりに努め、支援サービスの充実を図った。

① 利用者の状況 (平成28年3月31日現在)

定 員	平成26年度末 在 籍 者	年 度 中 の 増 減			平 成 27 年 度 末 在 籍 者
		入 所	退 所	増 減	
40人	40人	2人	3人	△1人	39人（男20 女19）

② 年齢構成 (平成28年3月31日現在)

在籍者	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	平均年齢
39人	1人	8人	3人	16人	8人	2人	1人	42歳6ヵ月

③ 障がい程度区分 (平成28年3月31日現在)

在籍者	1	2	3	4	5	6
39人	0人	2人	2人	19人	9人	7人

④ 通園バス運行状況 (平成28年3月31日現在)

区 分	定 員	利 用 者	乗降地点	走行キロ数(1日平均は平均運行距離)	
				年 間	1日平均
1号車	33人補9人	28人	22ヵ所	20,050km	80km
3号車	8人	8人	7ヵ所	22,391km	79km

⑤ 日常活動

- 日々の生活で必要となる基本的な生活力及び生活習慣を習得するため、個別の支援計画等に基づき、継続的な活動支援を行った。

⑥ 班別活動

- 利用者の希望を尊重するとともに適性等を考慮し、通常は作業班と生活班の2つのグループに分かれて活動した。
- 活動内容

	項 目	人員	主 な 活 動 内 容
作 業 班	作業活動 (箱づくり)	24人	<ul style="list-style-type: none"> • 作業トレーニングとして菓子箱(紙箱)折りの作業を市内の業者から受注して行った。時期によって多少の差はあったが年間を通して継続的に作業を行うことができた。(年間生産数 34,150個)
	創作活動	10人	<p>【陶芸】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 利用者が、それぞれの適性に合わせて、ひも作り・型作りなど様々な技法を用いて作品の制作に携われるように配慮した。完成した作品は施設の祭り・地元の物産直売店・市内ホテルの催事場等で展示・販売を行った。 • ガス窯により、素焼きの後本焼きを行う行程で作品作りに取り組み、釉薬を工夫する等、個性的な作品作りを行った。(年間で素焼き4回、本焼き5回を実施した)
		14人	<p>【手工芸】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 利用者の適性に合わせて対応できるような手工芸を取り入れ取り組んだ。 • ビーズを糸に通して、指輪、プレスレッド、ネックレス等を製作し、施設の祭り・地元の物産直売店・市内ホテルの催事場等で展示した。 <p>【図画工作】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 季節や行事に合わせて絵描きや紙工作等を行い、自由に創作する楽しさを体感した。
	生活学習レ クリエーション	24人	<p>【クッキング】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 季節感のあるお菓子作りを通して、食べ物を作る楽しさを体験した。(4回) <p>【月・季節行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 誕生会や茶話会、季節の小行事等を実施して、変化のある生活作りに取り組んだ。(誕生会10回、季節行事7回)

作 業 班	生活学習レ クリエーション		<p>【園外活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設のバス等を利用してグループで外出し、社会との交流を図り、豊かな体験を積むことで生活の幅を広げた。（作業班3回、合同1回） <p>【園芸】</p> <ul style="list-style-type: none"> 園の畑にジャガイモやカボチャ等を植えて、植物の生育や収穫の喜びを体験した。 <p>【軽スポーツ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 散歩や踊り等、楽しく体を動かせる場面を多く取り入れた。 地域のインディアカ愛好会の指導を受け、スポーツの楽しさを体験しながら交流を図った。（9回） 冬季間、体操等を取り入れ運動不足の解消に努めた。
	個別活動	18人	<ul style="list-style-type: none"> 利用者一人ひとりの障がいの状態と嗜好や適性に合わせ、楽しく取り組める軽作業や指先を使うビーズ通しやパズル作り等の活動を行った。 施設周辺の散歩等により、体力作りや健康増進に努めた。
生	リハビリ体操	18人	<ul style="list-style-type: none"> 音楽、レクリエーション、運動等を組み合わせて、楽しみながら体を動かし身体機能の活性化を図った。
	機能訓練	4人	<ul style="list-style-type: none"> 身体機能の維持・向上を図るため、個人ごとに必要な訓練を行った。
	創作活動	18人	<p>【陶芸】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の適性に合わせ、型作り等の技法を用いて作品を作り、完成作品は施設の祭り・地元の物産直売店・市内ホテルの催事場等で展示・販売を行った。 <p>【手工芸】</p> <ul style="list-style-type: none"> パーラービーズでコースター等の作品を作り、施設の祭り・地元の物産直売店・市内ホテルの催事場で展示・販売を行い、一般市民との交流と理解を深めた。
活	生活学習レ クリエーション	18人	<p>【月・季節行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 誕生会や茶話会、季節の小行事等の実施により、変化のある生活作りに取り組んだ。（誕生会10回、季節行事7回） 園の畑にジャガイモやカボチャ等を植えて、植物の成長や収穫の喜びを体験した。 <p>【園外活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設のバスを利用して外出する小行事を行い、一般の人とふれあいながら季節を肌で感じる等の豊かな経験を積んだ。 <p>【クッキング】</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節感のあるお菓子作りを通して、食べ物を作る楽しさを体験した。（2回） <p>【軽スポーツ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 希望者は、毎月1回、地域のインディアカ愛好会の指導を受け、スポーツの楽しさを体験しながら交流を図った。 <p>【レクリエーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> 室内でできる簡単なボウリングやサッカー等のゲームを行い、楽しく身体を動かした。
班			

⑦ 自立訓練活動

- 利用者全体を4回に分け、東根市内にある身体障害者保養所に1泊する宿泊訓練を行い、親元を離れて生活する体験を通して自立心を高めた。

⑧ 園外活動

- 施設全体の行事として栃木方面への社会見学旅行（親子宿泊旅行）を行い、利用者と保護者との親睦を図りながら相互理解を深めた。

⑨ 健康衛生管理

- 嘱託医との連携を図りながら、利用者の健康管理に努めるとともに、各専門医による各科検診（内科，眼科，耳鼻科，歯科）を年2回実施した。
- 利用者全員を対象に、施設内で山形市の総合健診（特定健診・がん検診等）と同様の集団健診を実施した。
- 利用者の日々の健康状態について、看護職員及び担当職員を中心に、丁寧な健康観察を行い、体調不良や感染症等の把握に努め、必要に応じて家庭と連携しながら、早期に適切な対応を行った。
- 毎月1回、体重測定を行い、利用者の健康状態の把握に努めた。
- 総合健診とは別に年1回、利用者及び職員の検便を実施し、健康状態の把握に努めた。

⑩ 給食の状況

- 利用者に好まれる内容と栄養のバランスの両立に努め、季節感のある献立や利用者が選択できる希望献立等により、豊かな食事の提供に努めた。
- 給食委員会を毎月1回実施し、献立内容と利用者の食事摂取状況等を確認することで提供内容の充実を図った。
- 毎日の食事の中で、偏食及び糖尿病等の成人病予防を図るため個別支援を行い、必要に応じて家庭との連携を図り、効果を高める食事支援に取り組んだ。

⑪ 時間外預かり支援（レスパイト）サービスの実施

- 利用者及びその家庭に対する支援として、通常の営業時間を延長して支援を行った。
午前の預かり時間（8：00～8：30）延べ利用者数 247人
平日・午後の預かり時間（17：15～18：30）延べ利用者数 643人
土曜・午後の預かり時間（12：30～18：30）延べ利用者数 59人

⑫ 防災及び事故防止対策

- 年2回の総合防災訓練と火災や地震を想定した毎月1回の避難訓練を実施して災害時に備えた。
- 訓練の実施にあたっては、内容・日程で安全性に配慮した計画を立て実施した。
- 登降園時の安全に配慮し、家庭と連携を密にしながら事故の防止に努めた。

⑬ 苦情解決

- 連絡帳や電話等で家庭との連携を密にして丁寧な対応を心がけた。苦情は年間で1件寄せられたが、誠意をもって対応し理解を得て解決することができた。

⑭ 職員の研修

- 職員の資質向上を図るため、以下の研修に参加した。

ア 職場内研修

- 救命救急法研修 7月1日，8日 9名

イ 職場外研修

- 障害者福祉関係種別新任職員研修会 6月10日～11日 1名
- 権利擁護推進委員連絡会・研修会 9月11日 1名
- 東北地区知的障害者福祉協会専門研修会 9月29日～30日 1名

- てんかん研修会 10月24日 1名
- 山形県強度行動障害支援者養成研修会 11月5日～6日 1名
- 県福祉協会施設長等研修会 11月10日～11日 1名
- 東北フォーラム2015インふくしま 11月19日～20日 1名
- アンダーコントロール研修会 11月25日 2名
- 山形県サービス管理責任者研修会 11月24日, 12月10日～11日 1名
- 山形県障害者虐待防止・権利擁護研修会 11月26日 1名
- 家族と支援者が共に学ぶセミナー 12月7日 1名
- 障害者歯科研修会 3月6日 1名
- 村山地区権利擁護セミナー 3月16日 1名

⑮ 地域社会との交流

- まんさくの丘まつり開催（9月）
- 蔵王地区まつりへの参加（11月）
- 山形市内のホテルでの展示販売（12月）
- 地域内の農産物直売店での利用者作品の展示及び販売（通年）
- 地域協力者より栽培指導等の協力を得た農作物の栽培（通年）

⑯ 保護者との連携

- 毎日の連絡帳の交換により相互の状況把握と理解を深めるとともに、必要に応じて家庭訪問及び電話等により保護者との連携を蜜にしなが、施設と家庭が一体になり継続性のある支援ができるように努めた。

⑰ 実習生の受け入れ

- 保育実習生（短大生） 5人
- 施設実習（看護学生） 12人
- 就業・現場体験（特別支援学校生徒） 2人

(6) 日中短期入所事業所 恵光園

在宅で暮す障がいのある方々を、日中の一定時間お預かりすることにより、当事者及び家族の負担を軽減する支援を行った。

① 月別実施状況 (平成28年3月31日現在)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施人数 (延べ人数)	10	9	7	10	4	13	5	11	8	9	7	4	97人

② 時間別実施状況 (平成28年3月31日現在)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4時間未満	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1人
4～8時間	9	9	6	9	3	9	3	8	5	6	4	3	74人
8時間以上	1	0	1	1	1	4	2	2	3	3	3	1	22人

(7) 宿泊型自立訓練事業 蔵王通勤寮

利用者の就労・生活の安定と地域生活移行を推進するため、個別支援計画に基づき、就労事業所、関係機関等と連携して支援を行った。

① 利用者の状況 (平成28年3月31日現在)

定員	平成26年度末 在籍者	年度中の増減			平成27年度末 在籍者
		入所	退所	増減	
20人	18人	2人	3人	△1人	17人(男14 女3)

② 年齢構成 (平成28年3月31日現在)

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計	平均年齢
人数	0人	2人	4人	4人	7人	0人	17人	44.29歳

③ 利用者の日中活動区分 (平成28年3月31日現在)

就労形態	一般就労	就労継続支援A型	就労継続支援B型	就労移行支援	生活介護事業所	無職	合計
人数	9人	0人	6人	0人	1人	1人	17人

④ 自立能力向上への支援

- 基本的な生活習慣と身辺処理能力の向上を図るための支援を行った。
- 金銭に関する自己管理能力の向上を図る支援を行った。
- 利用者の自治会活動の充実を図るための支援（年間計画、生活用品購入、当番活動等）を行った。
- 相談支援事業所との契約の支援を行った。

⑤ 就業指導及び職場定着への支援

- 就労事業所との連携を強化し、職場定着を図るための訪問等を行った。

⑥ 食生活への支援

- 給食委員会を毎月1回実施し、献立内容と利用者の食事摂取状況を把握するとともに、年間計画に基づき季節感のある給食の提供を行った。
- 利用者の嗜好調査（アンケート等）を毎月行い、その希望を集約して実際の献立に反映させた。
- 定期的に栄養士が食事の実態を確認し、必要に応じて利用者に食事指導及び助言を行った。
- 食生活及び調理に関する知識と技能を高める支援を行った。

⑦ 余暇活動への支援

生活の質的な向上を図るために次の行事を通して支援を行った。

- 誕生会（毎月）
- 花見会（4月）
- バーベキュー大会（5月）
- ボウリング大会（5月）
- 東京への一泊の社会見学旅行（11月）
- 忘年会（12月）

⑧ 健康及び衛生管理

・健康診断等の実施状況

検診内容	健康診断（一般）	健康診断（成人病）	子宮・乳がん検診
受診者数	7人	9人	1人

- ・健康診断実施の結果，精密検査や治療を要するケースについては迅速に対処した。異常が認められた利用者に関しては再検査を行った。
- ・毎月1回の体重測定及び血圧測定を実施し，健康状態の把握を行った。
- ・感染症や食中毒の予防のため，利用者及び関係職員の検便を実施した。（一人当たり年間6回）
- ・塩素系の空間除菌剤及び手指消毒薬を導入し感染症の予防を図った。
- ・うがい，手洗い等の徹底を呼びかけ，インフルエンザ，感染症の予防に努めた。
- ・病気等の予防，治療及び医療機関への受診等自己管理能力の向上を図るための支援を行った。
- ・インフルエンザ等の感染症罹患者の発生時には，拡大を防ぐため，施設内の消毒，有症状者を居室に隔離するなどのケアを行った。また，就労事業所に連絡し，対応を協議した。

・通院・入院の状況 (平成28年3月31日現在)

受診内容による分類	内科	精神科	てんかん	脳神経外科	脳外科	菌科	皮膚科	眼科	耳鼻科	形成外科	整形外科	婦人科	泌尿器科	肛門科
通院治療 (うち実人数)	109 (12)	87 (9)	17 (3)	14 (1)	0 (0)	63 (7)	23 (5)	15 (7)	2 (2)	15 (1)	99 (2)	13 (2)	0 (0)	1 (1)
入院治療 (うち実人数)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

⑨ 災害防止対策

- ・避難訓練を実施した。（4回／4月，6月，8月，11月）
- ・総合防災訓練を実施した。（2回／8月，2月）
- ・防災研修を実施した。（1回／8月）
- ・まんさくの丘全体で実施されている避難訓練に参加した。（毎月1回）
- ・発電機の操作及び作動確認を行った。（毎月1回）

⑩ 関係機関・保護者との連携

- ・福祉事務所とのケース検討会
- ・就業・生活支援センターとの連携
- ・相談支援事業所との連携
- ・保護者会の開催（2回／4月，12月）
- ・保護者との個人面談（必要に応じて随時実施）
- ・三恩会総会の開催（1回／3月）
- ・事業主懇談会の開催（1回／12月）

- ⑪ 苦情解決
- 今年度は苦情は無かった。
 - 利用者にアンケート調査を実施した。(2回/10月, 3月)

- ⑫ 職員の研修
- 職員の資質向上を図るため、下記の研修に参加した。

ア 職場内研修

- 救命救急研修 (7月/延9名参加)

イ 職場外研修

- 関東地区宿泊型自立訓練事業等施設長研修 (4月/1名参加)
- 東北地区施設長・管理者等連絡協議会及び総会 (6月/1名参加)
- 全国知的障がい関係施設長等会議 (6月/1名参加)
- 全国宿泊型自立訓練等協議会総会 (6月/1名参加)
- 東北地区知的障害者福祉協会専門研修会 (9月/1名参加)
- 全国宿泊型自立訓練等職員研究会 (12月/1名参加)
- 宿泊型自立訓練事業所等協議会職員研修会 (2月/1名参加)

(8) 共同生活援助事業所 蔵王 (グループホーム)

個別支援計画に基づき、金銭管理、居室の清掃等の生活環境の改善に関すること、就労事業所と連携した職場定着を図るための支援等を実施した。

一部の入居者が高齢化しており、それに伴い健康状態に問題を抱えるケースが増えてきているため、保護者、世話人と連携を密にし、個別援助を行うとともに、グループホーム退居後を見据えたその後の生活場所についても保護者、関係機関との話し合いの場を設けた。

① 入居者の状況 (平成28年3月31日現在)

グループホーム名	飯田荘	みどり荘	さくら荘	わかば荘	あすなる荘	わかくさ	合計
入居人数	4人	4人	4人	4人	4人	4人	24人

② 年齢構成 (平成28年3月31日現在)

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計	平均年齢
人数	0人	0人	9人	6人	4人	3人	2人	24人	47.33歳

③ 入居者の就労区分 (平成28年3月31日現在)

就労形態	一般就労	就労継続支援A型	就労継続支援B型	生活介護事業所	無職	合計
人数	12人	4人	6人	1人	1人	24人

④ 入居者に対する支援 (延件数)

- 社会生活上の相談及び支援 (516回)
- 余暇活動の支援 (41回)
- 職場訪問及び就労支援 (101回)
- 関係機関との連携 (41回)

- 対人関係の調整（52回）
- 買物等の支援（27回）
- 問題行動への対応（43回）
- ⑤ 世話人に対する指導
 - 相談及び業務指導（144回）
- ⑥ 健康及び衛生管理
 - 健康管理に関する支援（158回）
 - 医療機関への受診支援（134回）
 - 入居者の健康診断実施状況

検診内容	健康診断（一般）	健康診断（成人病）	子宮・乳がん検診
受診者数	8人	16人	1人

- ⑦ 地域生活関連
 - 地域生活への適応に関する支援（9回）
- ⑧ 関係機関・保護者との連携
 - 相談支援事業所との連携
 - 三恩会総会の開催（1回／3月）
 - 保護者会の開催（2回／4月、12月）
 - 事業主懇談会（1回／12月）
- ⑨ 災害防止対策
 - 蔵王通勤寮で実施した総合防災訓練に参加した。（2回／10月、3月）
 - グループホームごとに防災設備の説明及び避難経路の確認を行った。
- ⑩ 苦情解決
 - 今年度は苦情は無かった。
- ⑪ 職員の研修
 - 日本グループホーム学会全国大会京都大会（7月／1名参加）
 - 全国グループホーム研修会（8月／1名参加）

(9) 相談支援事業所 まんさく

本人及びそのご家族が、豊かな人生を自らの意思に基づき実現できることを支援するために、福祉サービス事業所や市町村、教育機関等の関係機関と連携を図りながら、日常生活全般に関わることや必要な福祉サービスの利用等の相談に応じ、サービス利用計画の作成、申請等の支援を下記のとおり実施した。

① 新規相談件数（形態別）

形態区分	平日	時間外	休日	合計
電話	221	0	0	221件
来所	13	0	0	13件
訪問	14	0	0	14件
その他	0	0	0	0件
合計	248件	0件	0件	248件

② 相談者

区 分	件 数	区 分	件 数
本人・家族等	197	行政機関	3
民生委員	0	教育委員会	3
ケアマネジャー	0	山形市からの依頼	5
サービス提供事業所	39	その他	0
医療機関	1	合 計	248件

③ 主な相談内容

内 容	件 数	内 容	件 数	内 容	件 数
サービス利用支援	784	保育・教育支援	211	雇用・就労支援	173
障がい・病状理解支援	417	家族・人間関係支援	114	社会参加・余暇活動支援	144
健康・医療支援	239	家計・経済支援	118	権利擁護・成年後見関係	3
不安解消・情緒支援	384	生活に関する支援	287	虐待に関する支援	1
そ の 他	0			合 計	2,875件

④ 相談後の連絡調整

区 分	件 数	区 分	件 数
本人・家族等	1,638	医療機関	78
民生委員・近隣関係	0	行政機関	711
ケアマネジャー	18	その他	93
サービス提供事業所	1,473	合 計	4,011件

⑤ 申請手続き

内 容	申請・処理件数
介護給付費支給申請	107
訓練等給付費支給申請	29
地域生活支援事業申請	29
手帳申請関係	16
自立支援医療請求	0
障がい児通所給付費支給申請	206
サービス等利用計画申請（者）	109
障がい児支援利用計画申請（児）	212
福祉タクシー券・給油券	54
その他	0
合 計	762件

⑥ 障がい種別

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	難 病	合 計
26	70	8	143	1	248人

⑦ カンファレンス等の開催件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3	9	3	8	9	10	5	6	9	10	11	10	93件

II 児童養護施設 山形学園

平成27年度は、子ども達への支援の充実のために、以下の5点を重点的に取り組んだ。

- (1) ユニットケア体制の充実と施設の小規模化への取り組み
- (2) 一人ひとりの心身の発達を支援する処遇の推進，個別ケアの充実
- (3) 家庭や関係機関と連携し，家族再統合にむけての相談・助言及び家庭支援
- (4) 職員の専門性に対する意識改革と資質向上，チームケア体制構築
- (5) 里親支援の充実，子育て短期支援事業の推進，地域交流の推進

一人ひとりの生活をより豊かなものにしながら，子ども達一人ひとりと向き合い，子ども達の人間力を育むことで，自立への力の源となり，施設生活への活力となるよう支援に努めた。

① 入退所の状況 (平成28年3月31日現在)

定員	平成26年度末 在籍者	年度中の増減			平成27年度末 在籍者
		入所	退所	増減	
40人	36人	7人	5人	2人	38人(男22 女16)

② 年齢構成 (平成28年3月31日現在)

3歳未満	幼児	小学生	中学生	高校生	その他	計	平均年齢
0人	7人	11人	12人	8人	0人	38人	11.5歳

③ 障がい等区分 (平成28年3月31日現在)

知的障がい児	ADHD (注意欠陥/多動性障がい)	広汎性発達障がい
11人	3人	4人

④ 入所理由区分 (平成28年3月31日現在)

虐待	28人	その他	7人
父母の精神疾患等	1人		
破産等の経済的理由	2人	計	38人

⑤ 退所児童状況 (平成27年度中)

県内進学	1人	県外進学	1人	家庭復帰	3人	施設利用	1人	自立	1人
------	----	------	----	------	----	------	----	----	----

⑥ 児童処遇

ア 年少児

- 基本的生活習慣の確立及び遊びを通して心身両面の育成に取り組んだ。
- 幼稚園を活用しながら，集団生活への適応力の向上を図った。
- 幼稚園入園前の幼児は，地域の子育てサロンや幼稚園の遊びの教室に参加し，地域との交流及び集団参加の体験を増やした。

イ 小学生

- 基本的生活習慣の習得に努めた。
- 余暇活動や遊びを通して，情緒の安定を図り心身両面の育成に努めた。
- 学校との日常の相互連絡や連絡会(年2回)等を通して，生活と学習の向上につなげた。

- ・長期休みに子ども達の自主グループでの学習会を設け、効果が見られた。
- ・居室単位の活動やグループ活動を通して、協調性や自主性の高揚につながった。

ウ 中学生・高校生

- ・部活動と学業の両立が図れるように指導にあたった。
- ・進路指導にあたっては、進路目標、意識の高揚を図りながら、学校及び関係者との連携を図った。
- ・基本的な生活習慣の習得を図り、社会性・協調性及び自立意欲の向上に努めた。
- ・スポーツ活動等を通して、情緒の安定を図り心身両面の育成につなげた。
- ・高校卒業後の進路については、自立サポート相談員を中心に学校や関係者等と連携を図りながら十分な情報提供を行い、本人の意思を尊重しながら進めた。
- ・高校3年生に対して、フレッシュマンスタート講座7回を実施した。

エ 全児童

- ・個々の児童の意見が尊重される環境作りとその対応の充実を図った。
- ・調理実習やおやつ作りを実施し、生活技術の習得と変化のある生活作りに努めた。
- ・社会体験学習や園外活動の機会を多く設け、社会経験や常識の習得を図った。
- ・学習ボランティア等の協力を得ながら個別学習の充実を図り、学力の向上に努めた。
- ・児童相談所や関係機関との連携を図り、処遇の向上に努めた。

⑦ 健康衛生管理

- ア 健康診断を年2回実施した。
- イ 毎日の健康観察により、疾病の早期発見と早期治療に務めた。
- ウ 児童の検便を年3回実施し、感染症の予防に努めた。
- エ 医療状況

区 分	内科	外科	皮膚科	歯科	整形外科	耳鼻科	眼科	泌尿器科	精神科	計
服薬(実人数)	100	4	56	16	21	9	29	0	18	253人
通院(延人数)	123	4	131	21	32	9	31	0	24	375人
入院(延人数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
計	223	8	187	37	53	18	60	0	42	628人

⑧ 給食の状況

- ア 年齢に適した栄養の供給に努めた。
- イ 毎月1回給食委員会を開き、適切な食事内容の検討や食生活への興味や関心の普及を図った。
- ウ 衛生的な食事環境作りに配慮し、正しい食習慣の確立に取り組んだ。
- エ 行事食、郷土食、バイキング、会食、外食、希望献立などを実施し、楽しく変化に富んだ食生活に努めた。
- オ 手作りおやつを実施し、手作りの良さを児童に伝えることと一緒に作る場面を増やした。
- カ ユニット調理を実施し、生活技術の向上を図った。(土・日)
- キ 畑で作った野菜を食事に使用する等、食育に力を入れた。

⑨ 行 事

生活の潤いと集団生活への適応や協調性の向上を図るために次の行事を実施した。

- 全体行事 職員歓迎会, 東京ディズニーランド旅行(4グループ), 海水浴(宿泊), ふれあいまつり, クリスマス会, 市長とのもちつき会, スキー教室, 退園生激励会, 職員送別会
- 季節行事 端午の節句, 七夕, だんご木刺し, 雛祭り
- 園外行事 県内児童養護施設入所児童ワイワイ交流会, 高校生仙台イルミネーション見学

⑩ 地域活動と社会資源の活用

ア 地域交流を深め, 児童の自主性や社会適応力を高めるため次の活動を実施した。

- 山形市10kmウォーキングへの参加
- 上野地区流しそうめんまつりへの参加
- P T Aや子供育成会行事への積極的参加
- ボランティア活動(菅沢荘, あたご荘, 夏祭り手伝い)

イ ボランティアや慰問等の受け入れ

• 行事の手伝い	9 団体	年間延べ回数	1 回
• 施設内外環境整備	3 団体	〃	4 回
• 慰 問	9 団体 4 個人	〃	14回
• 招 待	3 団体 1 個人	〃	6 回
• 学習, ピアノ, 散髪等	2 団体 8 個人	〃	197回

ウ 実習生の受け入れ

- 資格取得のための実習 4年大学5名, 短期大学14名, 専門学校3名
- 介護体験実習 4年大学8名

⑪ 家族との関係作り・調整

ア 家庭へのファミリー・ケースワークを行い, 早期家庭復帰の調整に努めた。

イ 家族も一緒に参加できる行事等には参加を呼びかけ, 家族との関係作りに努めた。

ウ 夏休みや冬休みなどに, 家庭への一時帰省を実施した。

エ 家族等との交流のない児童には, 家庭生活体験事業を実施した。(4家庭に5名の児童, 延べ62日)

オ 家庭訪問(5家庭 5回実施)

⑫ 里親支援

- 里親サロン 6回 延べ27名
- 家庭訪問 2回

⑬ 職員会議・委員会等

運営会議14回, 職員会議14回, 給食委員会12回, ケース検討会12回, ケースカンファレンス8回, 心理療法士・職員に対する専門医の助言等(心理療法スーパービジョン)10回

⑭ 職員の研修

ア 内部研修会

- 平成27年9月8日 児童相談所とのケース検討会

- 平成27年7月16日・11月30日「CAPおとなワークショップ」
CAP庄内 齊藤 綾 氏
- 平成28年1月29日「男子の性教育」
山形県看護協会 山口 節子 氏
- 平成28年2月26日「いのちの学習」「施設における男子の性教育」
MOTHER design わだゆきこ 氏

イ 外部研修会

- 東北ブロック児童養護施設研究協議会（青森県） 6月18日～19日 1名
- 東北ブロック児童養護施設初任者研修会 9月16日～17日 1名
- 山形県児童養護施設協議会宿泊研修会 11月25日～26日 4名
- ファミリーソーシャルワーカー研修会 2月8日～9日 1名
- その他 20件 32名

⑮ 災害防止

- ア 防災計画に基づき、消火訓練、避難訓練を定期的を実施した。
- イ 自転車の安全点検を行った。
- ウ 登下校や外出時の事故防止のため、交通安全教育を実施した。
- エ 夜間招集訓練を実施した。

⑯ 心理療法の実施

- ア 実施児童数 32名
- イ 心理療法等の回数
 - 心理療法 780回
 - セカンドステップ 65回
 - サードステップ 20回 合計865回

ウ 対象児童の年齢・主訴別数

	身体的虐待	ネグレクト	心理的虐待	その他	計
3歳～学齢前	0	1	0	0	1人
小学生	1	7	0	0	8人
中学生	4	3	1	4	12人
高校生	2	8	0	1	11人
計	7	19	1	5	32人

⑰ 苦情解決の状況

- 要望や意見はあったが、その都度話し合いで解決することができた。

こどもショートステイ事業

家庭をとりまく環境が複雑化している今日において、子育て支援事業の一環として、平成9年4月より山形市から委託を受けていたが、平成27年度については、利用実績がなかった。

Ⅲ 高齢者総合福祉施設すげさわ

理念である「入所者・利用者，誰もが安心できる暮らしの実現」に向けて業務にあたった。経営的には、「すげさわ」の各事業所が介護報酬による経営の維持に取り組んだ。

- ① 介護保険制度に対応し，次の事項に取り組んだ。
 - ・介護報酬による経営の維持
 - ・給付管理と介護報酬事務の正確化
 - ・利用者の確保
 - ・サービスの質の向上
 - ・ケアプラン・リハプラン・栄養マネジメントの適正度と実施度の向上
 - ・地域支援機能の強化
- ② 地域交流を図るため，地域の方々の協力を頂き，次の事業を実施した。
 - ・夏祭り 7月26日（日）……地元自治会・家族会との共催
 - ・敬老会 9月20日（日）
- ③ 地域貢献として次の活動を実施した。
 - ・団地内市道のごみ拾い
 - ・市有地の除草
 - ・資源回収への協力
- ④ 地域との連携を図るため，次の地区会議等への出席を行った。
 - ・地区会議への参加……本沢地区内企業・施設関係者と地区民の懇談会，文化祭，市長との新春懇談会，地域包括支援センター関係会議多数
 - ・地区内学校入学式，卒業式への参加……本沢小学校，第九中学校，山形医療技術専門学校
- ⑤ 地区自治会，近隣施設との連携
 - ・防災協力を図るため，防災訓練を実施するとともに防災懇談会を開催した。
 - ・本沢地区と福祉施設との災害時相互応援協定に基づき連絡会議に参加した。
- ⑥ 「すげさわ経営会議」の開催……総合福祉施設として，有機的な連携を図るため各部所幹部職員の同会議を月1回開催した。

職員の研修……サービス及び職員の資質の向上を図った。

 - ・その他県内外の外部研修 21回 25人

⑦ 内部研修の状況

月日	テ マ	講 師
4/16	事業計画／方針の周知	各部所担当職員
5/28	心肺蘇生／AEDの使用について	元山形市消防次長 深瀬 董 氏
6/25	倫理・常識及び法令遵守について 食中毒について 感染症について	研修委員会 管理栄養士 安全衛生委員会 田中真理子
7/30	事故防止（誤薬について） ヒヤリハット集計結果	リスク委員会
8/27	介護方法の検討（ボディメカニクスによる関節の動かし方）	リハビリ委員会
9/24	健康づくり講習会（ヨガ教室）	認定インストラクター 横倉 康子 氏
10/29	医療に関する研修（褥瘡について）	皮膚・排泄ケア認定看護師 黒木ひとみ 氏
11/26	感染症について（吐物処理） 総合防災訓練について	安全衛生委員会 防災委員会
12/17	リスクマネジメント（車両事故防止について） リスクマネジメント（虐待防止・ストレスについて）	介護員 八鍬 仁・遠藤 由美 介護員 安達 正賢・伊藤 雄希
1/28	認知症について	副センター長（認知症ケア専門士） 前田 典子 研修委員会
2/25	研究発表	各部所担当職員
3/17	財務報告 荘長講話	事務 伊藤 壮一・太田安希子 荘長 大山 雅彦

⑧ 各種委員会

- 安全衛生委員会は、職員の健康診断、職員の健康障害防止（インフルエンザワクチン接種・感染症予防対策、メタボリックシンドロームに着目した特定健診及び特定保健指導）、感染症マニュアルの見直し、産業医との連携、水道水残留塩素測定等を実施した。
- 防災委員会は、各種想定防災訓練、防災マニュアルの見直し、機器取扱マニュアル、自主点検、緊急連絡網の作成、地域や近隣施設との防災訓練や防災懇談会を実施した。
- 広報委員会は、すげさわ通信（機関紙）・家族会だより・夏祭りチラシポスター、施設のパフレット作りを行った。
- リスクマネジメント委員会は、ヒヤリハット報告書などを通して、事故の分析・リスクの回避・安全な環境の提供・介護事故防止に努めた。骨粗鬆症により、いかに丁寧な介護・優しい移乗介助をするかの徹底を図った。
- 研修委員会は、やらなければならない研修や時代が求めている研修を実施した。また、全体会で講師を招へいた場合は、アンケートを実施し今後の運営に生かした。
- 食事の委員会は、選択食の希望調査・おやつ在庫管理・行事食の企画運営・ソフト食の導入検討・食事についての提案等を行った。

- リハビリ検討委員会は、シーティング（安楽な着座姿勢）の検討を進め、同研修会を開催した結果、安全な介護・安全な食事摂取につながった。
- 褥瘡（床ずれ）委員会は、褥瘡の予防、褥瘡のある方の対応に力を入れた。褥瘡の段階を判断するスケールも導入し、それに基づき対応することで成果を上げることができた。
- 痰吸引委員会は、痰吸引研修を修了した介護職員が、看護職員との連携・協働のもとに痰吸引や経管栄養（医療的ケア）の取り扱いを迅速かつ安全に実施できるように取り組みを行った。また、都道府県が実施する標準研修に2名の介護職員が参加し研修過程を修了した。

(1) 特別養護老人ホーム菅沢荘（介護老人福祉施設）

安心・安全な介護，事故及び各種感染症の防止に努めた。ベッドの稼働率は，目標の95%を上回り98.1%であった。いきいき弁当配食事業や自主事業のいきいきサロンは，例年どおり実施した。平成28年3月より山形市から高齢者世話付住宅(市営南山形在宅) E棟10戸の生活援助員派遣事業を受託した。菅沢荘から南山形市営アパートG棟・E棟各10戸に生活援助員を派遣し，入居者の在宅生活を支援した。

① 入所者の概況

- 入所者数の経過 (平成28年3月31日現在)

定員	平成26年度末 在籍者	年度中の移動			平成27年度末 在籍者
		入所	退所	増減	
80人	80人	25人	25人	0人	80人(男19,女61名)

- 年齢構成 (平成28年3月31日現在)
- 要介護度 (平成28年3月31日現在)

60歳代	3人
70歳～75歳	8人
76歳～80歳	11人
81歳～85歳	16人
86歳～90歳	24人
91歳～95歳	16人
96歳以上	2人
計	80人
平均年齢	84.5歳

要介護1	3人
要介護2	8人
要介護3	22人
要介護4	25人
要介護5	22人
計	80人
平均要介護度	3.7

- 介護状況 (平成28年3月31日現在)

区分	歩行			食事			排泄			入浴			着脱衣			認知症	おむつ	車椅子	寝たきり	知的障がい	精神障がい
	自立	半介助	全介助	自立	半介助	全介助	自立	半介助	全介助	自立	半介助	全介助	自立	半介助	全介助						
人数	3	15	62	42	17	21	7	28	45	4	11	65	8	26	46	76	61	66	4	4	11

② 身体拘束ゼロへの取り組み

- 拘束は行っていない。

③ ケアプランに基づくサービスの提供

- ケアプランの精度を高め，かつ実施度を上げることに努めた。

- ケアカンファレンスを随時開催し、迅速なケアプランの見直しを行った。
 - 定期的なモニタリングを実施した。
- ④ ユニットケアの実施
- 内容の充実を図った。
- ⑤ 個別的ケアの実施
- 個別的な関わりを入所者に対して適時実施した。
 - 個別的ケアでは、次の内容を実施した。
手浴、足浴、散歩、リハビリ、整容等
- ⑥ 入所者の安全と健康の確保
- 安全衛生委員会を中心に、疥癬、MRSA、レジオネラ菌、ノロウイルス、インフルエンザ等の感染予防に努めた。
 - 安定した健康状態の保持と早目の処置対応に努めた。
 - 健康診断の実施（6月、2月）
 - インフルエンザ予防接種を入所者及び職員が接種することにより、流行を防止できた。
 - 嘱託医と協力病院との懇談会を通して連携に努めた。
 - 健康管理状況 （平成28年3月31日現在）

区 分	内科	精神科	皮膚科	歯 科	整形外科	耳鼻科	眼 科	泌尿器科	婦人科	外 科	その他	計
服薬(実人数)	80	9	17	0	7	0	0	2	0	0	0	115人
通院(延人数)	26	1	1	2	25	3	12	11	1	31	8	121人
入院(延人数)	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	19人
計	119	11	18	2	32	3	12	13	1	31	13	255人

- ⑦ 栄養管理
- 適切な栄養マネジメントを実施した。売店や生菓子販売をとおして潤いを提供した。調理活動（月1回）をとおして、作る楽しみ・それを食べる楽しみを提供した。
- 行事食（選択食67回、季節に合わせた節句料理やお祝い膳12回、鍋2回、鰻の蒲焼き実演昼食会1回、ところ天の会1回、計83回）
 - 飲酒の日の開催 毎週木曜日
 - 入所者が希望する食事の提供……4食
 - 他職種との協働による栄養ケアマネジメントを実施し、個人別の栄養管理を行った。
 - 食事形態 （平成28年3月31日現在）

主 食	ごはん	軟ごはん	全 粥	ミキサー粥	ソフト粥	メ ン	計
人 数	27人	10人	22人	5人	5人	1人	70人
副 食	常 食	キザミ食	極キザミ食	ミキサー食	計	うちソフト食併用者	
人 数	35人	17人	13人	5人	70人	10人	
流 動 食	高栄養ゼリー	経管栄養	計				
人 数	3人	9人	12人	※うち食事併用者2人			

⑧ リハビリテーション

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
評 価	1	5	8	3	2	4	1	4	3	1	5	6	43人	3.58
個 別	80	84	100	107	75	81	106	75	53	72	95	85	1,013人	84.4
余暇活動	2	2	0	0	2	9	0	0	0	0	13	69	97人	8.1
福祉用具	11	17	1	1	9	4	7	4	3	0	3	2	62人	5.2
そ の 他	2	9	0	1	0	3	6	2	3	1	1	2	30人	2.5
計	96	117	109	112	88	101	120	85	62	74	117	164	1,245人	103.8

⑨ 生活の潤いと楽しさを演出するために、次の事業を実施した。

- 全体行事 外食・ショッピング, 夏祭り, 敬老会, 芋煮会, 大掃除
- 季節行事 花見, 節句, 七夕, 花火大会, 紅葉狩り, クリスマス会, 正月, もちつき, 節分, 季節毎のコンサート
- 活 動 音楽療法 (毎月2回), 朝の体操, 調理活動, 創作活動, お花の会, 書道, 絵画, カラオケ等
- レクリエーションワーカーによる各種レクリエーションの実施

⑩ 処遇の安定と向上につながる次の会議と委員会を実施した。

- すげさわ経営会議 12回 • ユニット職員会議 12回
- カンファレンス 205回 • 各種委員会の開催 120回
- 職員全体会議 12回

⑪ 緊急性・透明性・公平性に留意し、入所決定会議を開催した。

- 退所者が発生する前に次の候補者を選出するために年4回開催

⑫ 災害訓練

- 総合防災訓練 (地震避難訓練) 2回 • 部分訓練 4回
- 防災機器取り扱い講習 1回 • 夜間想定避難訓練 1回
- 防災設備自主点検 12回 • 通報招集訓練 1回

⑬ 実習生等の受け入れ

- 施設実習 26人
- 介護初任者研修 39人 計 65人

⑭ ボランティア活動

- 定期的活動 6団体 2個人 年間延べ活動人数208人
- 不定期的活動 1団体 2個人 年間延べ活動人数 12人 計220人

⑮ 苦情解決

苦情件数は0件であった。

⑯ 家族会との連携

- 夏祭りや敬老会の共催
- 面会の促進
- 奉仕活動
- 家族会・職員との懇親会

・アンケート調査の実施

⑰ 高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業（市営南山形住宅G棟及びE棟、各10世帯、計20世帯）

特別養護老人ホームの付帯事業として、高齢者世話付住宅（以下「シルバーハウジング」という。）に生活援助員を派遣し、入居者の安否確認や生活相談を実施し、各関係機関と連携しながら、シルバーハウジング入居者の安全安心な生活の確保を図った。

- ・市営南山形住宅（G棟） 32世帯のうち、シルバーハウジング10世帯
- ・市営南山形住宅（E棟） 35世帯のうち、シルバーハウジング10世帯

ア 安否確認

入居者の希望を考慮して確認の曜日を決めながら、電話、訪問等で状態の把握を実施した。

〈G棟〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施日数	21	18	22	22	21	21	21	19	22	19	20	22	248日
電 話	51	46	56	50	52	56	53	53	54	46	48	49	614回
訪 問	3	1	1	2	2	0	1	1	1	3	3	3	21回
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0回
計	54	47	57	52	54	56	54	54	55	49	51	52	635回

〈E棟〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施日数												22	22日
電 話												15	15回
訪 問												26	26回
そ の 他												0	0回
計												41	41回

イ 生活相談

毎月相談日（月8時間）を設定して、市営住宅の相談室において生活相談等を行った。

〈G棟〉

内 容	相 談 の 形 態				計
	電 話	訪 問	相 談 日	そ の 他	
医療・健康	0	0	0	0	0件
福 祉	0	0	0	0	0件
家 族	0	0	0	0	0件
そ の 他	0	0	0	0	0件
計	0	0	0	0	0件

〈E棟〉

内 容	相 談 の 形 態				計
	電 話	訪 問	相 談 日	そ の 他	
医療・健康	0	0	0	0	0件
福 祉	0	0	0	0	0件
家 族	0	0	0	0	0件
そ の 他	0	0	0	0	0件
計	0	0	0	0	0件

ウ 緊急時対応

誤報あったが、実報はなかった。

〈G棟〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実報(時間内)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
実報(時間外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
誤報(時間内)	1	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	5件
誤報(時間外)	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	6件
計	2	0	0	1	0	1	2	3	1	0	0	1	11件

〈E棟〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実報(時間内)												0	0件
実報(時間外)												0	0件
誤報(時間内)												6	6件
誤報(時間外)												4	4件
計												10	10件

エ 一時的家事援助

〈G棟〉

電話の不調，物置の鍵の紛失

〈E棟〉

なし

オ 関係機関との連携

長寿支援課には，毎月実績報告を行い，生活状況や介護の状態の悪化など困難なケースが発生した場合は，包括支援センターや関係機関と連携を図り対応した。

〈G棟〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
包括支援センター	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1件
サービス業者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
地域関係者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
長寿支援課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
管理住宅課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
計	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1件

〈E棟〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
包括支援センター												0	0件
サービス業者												0	0件
地域関係者												0	0件
長寿支援課												0	0件
管理住宅課												0	0件
その他												0	0件
計												0	0件

(2) 菅沢荘ショートステイ（短期入所生活介護事業）

稼働率は79.8%～101%で推移した。月により変動が激しかった。平成26年度の平均稼働率は89.4%で、平成27年度は90.5%と昨年度より若干実績を上げた。送迎数は、月平均109件であり平成26年度の113件より若干少なかった。苦情件数は0件であった。

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	508	537	535	600	566	479	497	557	590	584	586	582	6,621人
稼働率	84.7%	86.6%	89.2%	96.7%	91.3%	79.8%	79.8%	92.8%	95.2%	94.2%	101.0%	94.5%	90.5%

② リハビリテーション

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
評価	3	0	4	0	0	4	2	3	2	0	0	2	20人	1.7
個別	29	22	41	23	24	16	35	22	11	24	6	11	264人	22.0
運動療法	155	177	225	174	198	150	144	182	247	174	211	217	2,254人	187.8
福祉用具	0	3	1	1	0	9	0	0	1	1	0	0	16人	1.3
その他	3	7	2	1	4	1	2	1	1	1	4	2	29人	2.4
計	190	209	273	199	226	180	183	208	262	200	221	232	2,583人	215.3

(3) 菅沢デイサービスセンター 通常型・認知症型（通所介護事業）

通常型は平均稼働率84.6%であり、平成26年度の79.2%を上回った。新規利用者獲得のPR活動や自事業所からの紹介が大きく貢献した。認知症型の平均稼働率は60.6%で、前年度の61.1%とほぼ同様であった。

① 利用状況

登録者 通常型：76名（うち予防23名） 認知症型：16名 配食サービス：11名

（平成28年3月31日現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	1日平均
平日通常型 （うち予防）	450 (106)	370 (91)	471 (106)	484 (108)	477 (104)	426 (101)	470 (106)	407 (95)	452 (103)	387 (81)	396 (91)	396 (94)	5,186 (1,186)	432.2人 (98.8人)	21.2 (4.8)
平日認知症型	142	118	150	146	136	124	132	122	132	111	103	118	1,534	127.8人	6.3
祝日通常型 （うち予防）	15 (3)	59 (15)	0	25 (4)	0	65 (16)	26 (4)	40 (6)	18 (4)	26 (5)	16 (2)	23 (5)	313 (64)	26.1人 (5.3人)	20.9 (4.3)
祝日認知症型	3	18	0	9	0	17	5	13	5	7	6	6	89	7.4人	5.9
休日認知症型	22	25	19	20	25	20	21	29	19	21	21	19	261	21.8人	5.1
配食サービス	203	213	207	195	191	167	173	143	154	136	142	148	2,072	172.7人	8.3

② 選択レクリエーションを行い、機能訓練指導員が個別及び集団の機能訓練を実施した。

③ 健康管理

視診、血圧・体温測定、体重測定、服薬の管理などによる利用者の健康管理と健康指導を行った。

④ 家族との連携

連絡帳及び送迎時の情報交換を通して家族との連携を密にし、信頼関係の形成に努めた。

⑤ 関係機関との連携

居宅介護支援事業所・地域包括支援センターとの連携を密にして適切なサービスの提供に努めた。また、たよりの発行や空き情報の提供にも努めた。

⑥ 栄養管理

利用者の嗜好を大切にしながら、季節の行事食を折り混ぜて満足感の得られる食事の提供に努めた。

- 季節に合わせたお祝い膳
- 家族を招いての芋煮会の実施

⑦ 災害訓練

菅沢荘と合同で災害訓練を定期的実施した。

⑧ 主な活動

4月	観桜会, 誕生会	10月	芋煮会, 誕生会, 紅葉狩り
5月	西公園足湯, 誕生会, 運動会	11月	誕生会, 外食会（喫茶）
6月	外食会（回転寿司）, 誕生会	12月	忘年会, 誕生会, クリスマス会 介護予防者の野外活動
7月	あじさい見学（あじさい寺）, 誕生会	1月	初詣, 誕生会

8月	カラオケ大会, 誕生会 介護予防者の野外活動	2月	豆まき, 誕生会
9月	外食会 (回転寿司), 誕生会	3月	レクリエーション, ショッピング

⑨ 苦情解決

- 苦情件数は0件であった。

(4) 山形西部地域包括支援センター

社会福祉士1名, 看護師1名, 主任介護支援専門員2名の4名体制で業務にあたった。職員4名が, 主たる業務である介護予防プランの作成や圏域内ネットワーク作り, 権利擁護等に取り組んだ。平成26年12月より菅沢荘と共同で, 南山形市営住宅において認知症カフェを月1回開催し, 盛会のうちに1周年を迎えた。

介護予防プランの作成件数については概ね安定してきた。市役所・医師・サービス事業所・利用者・家族・圏域内ケアマネージャー等の圏域内ネットワークの構築については, 試行錯誤しながら取り組み, 圏域内ネットワーク連絡会の運営にも努めた。西山形地区でのお茶飲みサロンや大曾根さわやか荘・黒沢いこい荘での出前相談も定着してきた。

平成28年3月より開始された, 介護予防・日常生活支援総合事業に伴い, 中核的事業所の役割を担った。苦情は0件であった。

① 総合相談支援業務

ア 相談関係

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規相談件数	30	26	20	23	16	23	28	24	11	23	22	28	274件
連絡調整件数	403	473	429	434	428	427	430	390	330	348	399	405	4,896件
実態把握件数	23	18	26	19	24	31	22	26	14	20	25	22	270件

イ 介護予防の講話等

- 地域のサロン (36回)
- はつらつ生活出前相談開催
黒沢いこい荘会場 (12回), 大曾根さわやか荘会場 (12回)
- 認知症サポーター研修 (3回)

ウ 地域との連携

- 包括支援センターネットワーク連絡会開催 (6回)
- 地域の福祉協力員民生委員等研修会 (18回)
- 民生児童委員定例会参加 (15回) / 個別情報交換会 (1回)
- グループホーム / 小規模多機能運営推進会議 (12回)
- 圏域内施設地域交流会参加 (3回)
- 敬老会 (1回) / 文化祭 (1回)
- 介護者サロンいっぶぐ会 (11回)
- 認知症カフェ (12回)

- ・本沢地区元気もりもり応援隊発足

エ 広報活動

- ・包括支援センターだよりの発行（4回）

② 権利擁護業務

- ・成年後見制度等への対応（1件）
- ・高齢者虐待等への対応（5件）
- ・関係機関との情報交換会（2回）

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・居宅介護支援事業所連絡会開催（4回）／幹事会（4回）
- ・介護支援専門員等への個別支援（13件）
- ・地域ケア会議（3回）

④ 介護予防ケアマネジメント業務等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
二次予防者数	11	10	8	5	4	4	5	12	14	14	12	-	99件
予防給付者数	162	162	162	163	167	172	166	168	170	168	168	173	2,001件
(内)委託者数	45	44	45	44	44	43	45	45	47	45	44	47	538件
総合事業対象者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4件
認定調査件数	13	12	9	6	16	10	5	4	11	4	8	8	106件
住宅改修件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3件

⑤ 医療機関等との連携

地域包括ケアシステムの構築に向け、圏域内の医療機関、民生委員、地区社会福祉協議会、居宅介護支援事業所等との会議を定期的で開催した。

(5) 居宅介護支援事業所すげさわ

介護支援専門員4名体制で居宅介護支援事業を行い、サービス提供事業所と連携を図り契約者のニーズに沿った適切なケアプランの作成に努めた。請求件数の月平均は、予防委託を含め142.2件であった。平成26年度の請求件数の月平均が134.0件であったので、実績を大幅に上げた。平成28年3月より開始された介護予防・日常生活支援総合事業に伴い、包括支援センターの委託を受けてその対応にあたった。苦情は0件であった。

- ・ケアプラン作成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護件数	130	128	134	137	135	131	132	133	140	138	135	137	1,610件
予防件数	5	6.5	7.5	7.5	8	8	8.5	8.5	10.5	10	11.5	11.5	103件
合計	135	134.5	141.5	144.5	143	139	140.5	141.5	150.5	148	146.5	148.5	1,713件

IV 養護老人ホームあたご荘

安全・安心な生活の実現に向けた介護予防のための機能訓練や町内会及び近隣施設等合同での防災訓練を実施した。介護予防事業としては、毎朝のリハビリ体操のほか、紙芝居・かるた大会等の昔遊び、民謡・華道やカメラなどのクラブ活動、山形ぐるり旅（荘内ウォーキング）、歩けない方々を対象としたカップスの演奏活動を行った。そして、共催行事の夏祭りや端午の節句・節分・雛祭りなど伝統行事では、趣向を凝らしたゲームや新たなアトラクションを加え実施した。

感染症対策として、インフルエンザについては、手洗い・うがい・マスク着用・換気の徹底及び面会者の入室制限等を行うとともに、ノロウイルスについては嘔吐物処理の実技研修を反復して実施し蔓延防止に努めた。

また、職員のスキルアップを図るため、コミュニケーションや転倒防止等、講座内容をレベルアップして実施した。

(1) 入所者の状況

① 入退所

(平成28年3月31日現在)

定員	平成26年度末 在籍者	年度中の増減			平成27年度末 在籍者
		入所	退所	増減	
100人	83人	7人	15人	△8人	75人(男20 女55)

ア 入所前の状況

事由/性別	男性	女性	計
他施設・病院	2	1	3人
自宅	1	3	4人
計	3	4	7人

イ 退所の状況

事由/性別	男性	女性	計
他施設入所等	3	6	9人
死亡	1	5	6人
計	4	11	15人

② 在所期間

(平成28年3月31日現在)

性別/期間	～1年	1～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	計	平均期間
男	3	10	4	1	1	1	20人	5年3ヶ月
女	4	24	19	6	1	1	55人	5年9ヶ月
計	7	34	23	7	2	2	75人	5年7ヶ月

※最長在籍22年6ヶ月

③ 年齢構成

(平成28年3月31日現在)

性別/年齢	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	計	平均年齢
男	3	5	4	4	4	0	0	20人	77.3歳
女	1	8	6	13	15	8	4	55人	83.7歳
計	4	13	10	17	19	8	4	75人	82.0歳

※最年長者101歳

④ 委託機関 (平成28年3月31日現在)

委託機関(枠)	男	女	計	委託機関(枠)	男	女	計
山形市(86)	18	52	70人	山辺町(4)	0	0	0人
天童市(3)	1	1	2人	中山町(3)	0	0	0人
東根市(2)	0	2	2人	河北町(1)	0	0	0人
寒河江市(1)	1	0	1人	計(100)	20	55	75人

⑤ 要支援・要介護の状況 (平成28年3月31日現在)

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数	7	2	16	14	2	5	1	47人

⑥ あたご荘外部サービス利用型特定施設契約者 (平成28年3月31日現在)

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数	1	1	8	12	2	5	1	30人

⑦ 外部サービス利用状況 (平成28年3月31日現在)

外部サービス	訪問介護	通所介護	訪問入浴	福祉用具貸与	訪問リハビリ	計
延べ人数	24	7	8	21	1	61人

⑧ 老人一時入所利用状況 (平成28年3月31日現在)

世帯区分	入所実人員	入所延日数
生活保護	5	430
その他	4	175
計	9人	605日

⑨ 無年金者 6人

⑩ 障がい者 25人

ア 身体障がい者 8人 イ 精神障がい者 14人 ウ 知的障がい者 3人

⑪ しらゆき会 (山形大学医学部への献体) 入会者 2人

⑫ 面会状況 767人 (月平均64人)

(2) 援助活動

① 主な行事等

4月	観桜鑑賞旅行 (置賜方面)	10月	県養護老人ホーム芸能祭 日帰り旅行 (北村山方面)
5月	端午の節句フェスタ (カップス・ 的あてゲーム) 荘長杯輪投げ大会	11月	もみじ茶会 (石行寺) 防災訓練 (夜間招集)
6月	県養護老人ホーム輪投げ大会 防災訓練	12月	クリスマスフェスタ (輪投げ大 会, カップス) 学童へクリスマス慰問
7月	日帰り旅行 (仙台方面) 夏祭り (カップス・AKB48)	1月	新年行事 (安全健康祈願・尺八・ カラオケ) 新春かるた大会 だんご木挿し

8月	教養講話会 合同お茶会	2月	節分フェスタ（輪投げゲーム、 カップス、豆まき）
9月	敬老祝賀会（大道芸・芸能） 防災訓練	3月	お雛さまフェスタ（輪投げゲーム、 カップス、カラオケ、AKB48） 防災訓練

※歴史探訪・買物ツアー（5, 7, 8, 11, 2月）、街なか探訪（9, 10月）

② クラブ活動等

クラブ名	華道	民謡	書道	カメラ	大人の塗り絵	昔語りの会	映写会	紙芝居	図書館めぐり
回数	3回	12回	3回	7回	11回	12回	11回	11回	3回
人数	24人	417人	21人	43人	114人	441人	404人	347人	23人

合計回数 73回 延べ人数 1,834人

(3) 食 事

季節を感じ取れ、「やまがた」の特徴を生かした変化のある献立にするとともに、入所者の高齢化に伴う嚥下機能の低下に対応した食事を提供した。

- ① 選択食 週2回実施
- ② お祝い膳 新年祝賀会、岩波地区祭り、敬老祝賀会
- ③ 季節献立 ぼたもち、寿司、芋煮、クリスマスメニュー
- ④ 調理活動 笹巻き作り、干し柿作り
- ⑤ 創作料理 鏡もち料理（おしるこ・茶わん蒸し）
- ⑥ おやつ 焼いも、揚げもち
- ⑦ 食事の委員会の開催 献立及び新メニュー等の検討
- ⑧ アンケートの実施 満足度の把握及び意見・要望の聴取
- ⑨ 食事形態

食事形態	一 般 食					特 別 食	
	普通食	全 粥	刻み食	極刻み	ミキサー食	減塩食	糖尿食
主食	34人	41人	-	-	0人	7人	7人
副食	31人	-	25人	19人	0人		

(4) 職員研修

職員のスキルアップ及び入所者へのサービス向上を図るため、職員研修を実施した。

- ① 感染症対策実技研修（嘔吐物処理手順の確認） 13回
- ② 介助業務（移動・シーツ交換、清拭、ドライシャンプー、食事介助）の基本 3回
- ③ コミュニケーション講座（体験的に学ぶコミュニケーション） 2回
- ④ 救命救急「AED」実践（適切な「AED」の使い方） 1回
- ⑤ 脱水時の対応及び水分補給のポイント 1回
- ⑥ リスクマネジメント研修（転倒事故対策について） 2回
- ⑦ その他（接遇研修、介護保険改正概要学習会等） 13回

(5) 健康及び衛生管理

- ① 往 診 内 科 月2回 精神科 月2回 皮膚科 月1回
整形外科 月1回

- ② 訪問歯科診療 月2回実施（要介護認定該当者）
- ③ 健康診断 年2回実施 5月（総合健診）、12月（血液、尿検査）
- ④ インフルエンザ予防接種の実施
- ⑤ 肺炎球菌予防接種の実施
- ⑥ 布団乾燥・ダニほこり除去の実施 4回
- ⑦ 機能訓練 毎朝リハビリ体操の実施
- ⑧ 口腔ケア 介助が必要な入所者への実施
- ⑨ 体重測定 毎月実施
- ⑩ 血圧測定 毎月実施
- ⑪ 感染症対策委員会の開催 感染症対策の周知徹底、嘔吐物処理の実技指導
- ⑫ 入院状況 (平成28年3月31日現在)

	内 科	外 科	循環器科	精 神 科	そ の 他	計
延べ人数	9	4	1	14	3	31人

(6) 災害及び事故防止対策

- ① 防災訓練
 - ア 土砂災害想定 6月9日
 - イ 地震想定・起震車体験（町内会及び近隣施設等合同）9月24日
 - ウ 夜間招集 11月26日
 - エ 火災想定（処方箋及び個人情報ファイル持出訓練）3月15日
 - オ 福祉避難所要援護者受入訓練 3月15日
- ② 村山地区特別養護老人ホーム災害時施設相互応援協定に基づいた防災訓練 3月11日
- ③ 安全点検 毎月点検による危険個所の改善
- ④ 防災委員会 訓練内容の検討・実施及び課題の改善
- ⑤ リスクマネジメント委員会 毎月実施による事故防止対策の周知
- (7) 荘長と語る会 6回実施（通りごと開催）
- (8) アンケートの実施 2回実施（食事・職員対応、施設管理）
- (9) 苦 情 なし
- (10) 実習生受け入れ4人
 - 東北文教大学短期大学部人間福祉学科 2人（6月26日～7月3日）
 - 山形大学・東北福祉大学インターンシップ実習 2人（8月27日）

V ヘルパーステーションあたご

利用者の心身の状態把握及び感染症予防に配慮し、入浴介助、排泄介助、食事介助、口腔ケア等を実施し、施設での自立した生活ができるよう援助した。

また、あたご荘職員と合同で研修を実施し、職員のスキルアップを図るとともにサービスの向上に努めた。

・要介護者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
排泄介助	19	18	19	21	20	20	18	20	21	19	21	21	237人
入浴介助	15	15	16	16	18	19	18	19	20	18	17	16	207人
口腔ケア	5	4	5	8	8	8	8	8	8	8	9	9	88人
食事介助	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	10人
計	40	38	41	46	47	47	44	48	50	46	48	47	542人

・要支援者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入浴介助	3	3	3	4	4	1	2	1	1	1	1	1	25人

VI たきやま地域包括支援センター

滝山地区の高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活が継続できるよう、総合相談・支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援機能を担い、この地区を圏域とした活動を実施した。また、民生委員定例会議、地区社会福祉協議会幹事会、地域団体会議への参加及び介護支援専門員連絡会並びに当センター主催会議を開催した。

当センターに情報提供や相談しやすい環境を整備するとともに、地域ケア会議を開催し、関係機関との情報共有を図り、個別課題の解決に努めた。

介護予防活動としては、介護予防の集い、いきいきサロンでの健康講話・カップス演奏指導、運動指導等を実施した。そして、包括支援センターだより「あんしん定期便」を発行し、介護予防や制度改正等について周知、啓発を行った。

また、3月から介護予防ケアマネジメント業務として、介護予防・日常生活支援総合事業の利用に関するケアマネジメントを実施し、対象者の状態把握及びサービス事業者等との連絡調整を実施した。

① 総合相談支援業務

ア 相談関係

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規相談件数	17	18	17	12	15	13	12	11	14	14	32	26	201件
連絡調整件数	382	341	411	344	269	333	331	262	368	438	389	366	4,234件
実態把握件数	11	8	10	6	6	12	13	14	14	9	22	13	138件

イ 介護予防

- ・介護予防の集い (12回)
- ・いきいきサロン (22回)

- 認知症サポーター養成講座（3回）

ウ 地域との連携

- 包括支援センターネットワーク連絡会（2回）
- 民生委員定例会（10回）
- 福祉協力員研修会（1回）
- グループホーム運営推進会議（5回）
- 滝山地区福祉推進会議（1回）
- 滝山地区社会福祉協議会幹事会（3回）
- 小規模多機能型居宅介護・地域密着型介護老人福祉施設運営推進会議（16回）
- その他の地域関係者・団体等が主催する会議等（8回）
- 地域ケア会議（3回）
- 出前相談（10回）
- 花はな会（7回）※避難者健康相談

エ 医療機関との連携

- 認知症対応について
- 成年後見制度について

オ 広報活動

- 包括支援センターだより「あんしん定期便」の発行（5回）

② 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- 滝山地区介護支援専門員連絡会（2回）
- 介護支援専門員への個別支援（8回）

③ 介護予防ケアマネジメント業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
二次予防者数	7	7	4	3	2	1	6	8	8	9	2	2	59件
予防給付者数	192	189	188	189	179	176	176	179	179	177	177	175	2,176件
（内）委託者数	69	73	71	71	69	70	68	69	73	77	77	76	863件
総合事業対象者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	17件
認定調査件数	5	7	10	14	8	16	7	9	8	10	2	19	115件
住宅改修件数	2	3	3	1	1	1	0	2	1	1	0	0	15件

Ⅶ 居宅介護支援事業所あたご荘

利用者のニーズに応じた適正なケアプランを作成し、自立した生活を送ることができるようモニタリングを行うとともに、状態に変化があった場合にはサービス担当者会議を開きケアプランを変更するなど、在宅生活を継続できるよう支援した。対応が困難なケースについては、民生委員、病院及び地域包括支援センターと連携して課題の解決を図った。

また、利用者家族等からのアンケート調査を実施し、生活改善の状況及び意見・要望を聴取した。

・ケアプラン作成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護件数	37	37	45	44	44	40	45	46	42	43	40	40	503件
予防件数	11	11	10	11	11	11	10	8	9	10	11	12	125件
合計件数	48	48	55	55	55	51	55	54	51	53	51	52	628件

・更新調査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	9	7	4	1	16	0	5	5	0	8	4	11	70件

VIII 銅町デイサービスセンター

稼働率は91.6%と目標の85%を上回り、前年度より12%上昇した。平日の稼働率は92.3%、平均利用者数は27.7人で、全体的に稼働率は上昇した。これからも継続して居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターと連携を図り、利用者の新規獲得を推進する。

サービス面では、利用者個別に通所介護計画書等を作成し、利用者の利用目的を達成することができた。また、楽しく過ごして頂けることを目指してサービスの提供に努めた。

① 利用状況 (平成28年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	1日平均
平日	590	513	640	624	554	524	597	536	578	518	539	572	6,785	565.4人	27.7人
日曜日	105	124	111	107	135	105	116	131	104	102	110	108	1,358	113.2人	26.6人
祝日	29	83	0	25	0	83	29	53	26	24	27	23	402	33.5人	26.8人
合計	724	720	751	756	689	712	742	720	708	644	676	703	8,545	712.1人	27.5人

② 利用者拡大対策

ア 各居宅介護支援事業所、地域包括支援センターとの連携強化を図った。

イ シルバーハウジング入居者の利用開拓に努めた。

③ ケアプランに添ったサービスの提供

ケアプランに基づいた通所介護計画書、介護予防通所計画書を作成し、利用目的を達成できるようにサービスの提供を行った。

④ 健康管理

ア 視診・血圧・体温の測定、服薬の管理等による利用者の健康管理と健康指導を行った。また、必要に応じて医師への報告を行った。

イ レジオネラ菌検査（年2回）及び残留塩素濃度の測定管理の実施により安全な浴槽水の確保に努めた。

⑤ 機能訓練

リハビリ委員会を中心に個別、全体を含め、身体機能の維持回復に努め、リハビリ体操は毎日2回（午前・午後）実施し、さらに転倒予防体操の内容を変更して実施した。

⑥ 家族との連携

連絡帳の活用及び送迎時の情報交換等を通し、家族との連携を密にし、信頼関係を形成した。

⑦ 関係機関との連携

各居宅介護支援事業所、地域包括支援センターとの連携を密にし、適切なサービスの提供を行った。

⑧ 栄養管理

毎月給食委員会を開催し、家庭の味を大切に、食べる楽しみと季節の変化を感じられる食事を提供した。

⑨ 主な活動

ア 誕生会（毎月第4週を基本に1週間）

イ 季節の行事（節分・ひなまつり・観桜会・紅葉ドライブ・クリスマス等）

ウ 全体レクリエーション（ボランティアの出し物・カラオケ・パターゴルフ・頭の体操・すき焼きジャンケンゲーム等）

エ 個人レクリエーション（将棋・トランプ・オセロ・ちぎり絵・書道・創作活動等）

⑩ 利用者家族及び地域への広報

広報委員会で内容を検討し、センターだより「あかしや」を毎月、「せせらぎ」を年1回発行した。

⑪ 地域交流

ア 地域交流室の利用 銅町住宅居住者の介護予防運動、慰問団の控え室等として利用

イ 地域のボランティア活動 48回

ウ 地域の慰問団 69回

エ 介護体験学習 10名

⑫ 災害訓練

ア 避難訓練、消火訓練、通報訓練、住宅との合同訓練及び消防用設備等の点検（年2回）

イ 緊急時の体制確立

⑬ 職員研修

ア 外部研修 9件 11名

イ 内部研修 12件 130名

⑭ 苦情解決の取り組み

ア 「ご意見箱」の設置

イ センターだよりによる苦情受付体制の周知

ウ 苦情 1件

⑮ 高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業

通所介護事業の付帯事業として生活援助員を派遣し、高齢者世話付住宅（以下「シルバーハウジング」という。）の入居者の安否確認、生活相談を実施し、各関係機関と連携しながら、シルバーハウジング入居者の安全安心な生活の確保を図った。

・市営銅町住宅 118世帯のうち、シルバーハウジング36世帯

・市営薬師町住宅 60世帯のうち、シルバーハウジング18世帯

ア 安否確認

平日は毎日実施を基本に、利用者の希望を考慮して確認の曜日を定めながら、電話、訪問等で状態の把握を実施した。

〈銅町住宅〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施日数	21	18	22	22	21	19	21	19	21	19	20	22	245日
電 話	344	321	355	325	323	295	313	297	323	294	311	344	3,845回
訪 問	0	0	1	0	0	1	1	1	4	1	1	0	10回
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0回
計	344	321	356	325	323	296	314	298	327	295	312	344	3,855回

〈薬師町住宅〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施日数	21	18	22	22	21	19	21	19	21	19	20	22	245日
電 話	118	129	137	130	112	110	112	108	134	103	115	119	1,427回
訪 問	12	5	10	7	7	11	7	7	5	8	4	17	100回
そ の 他	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	3回
計	130	134	147	137	120	121	119	116	139	111	119	137	1,530回

イ 生活相談

毎月相談日（月8時間）を設定して、各市営住宅の相談室において生活相談等を行った。生活援助員では対応できない相談内容については、関係機関と協議して対応した。

〈銅町住宅〉

内 容	相 談 の 形 態				計
	電 話	訪 問	相 談 日	そ の 他	
医療・健康	0	1	0	1	2件
福 祉	0	0	1	0	1件
家 族	0	0	0	1	1件
そ の 他	0	2	1	1	4件
計	0	3	2	3	8件

〈薬師町住宅〉

内 容	相 談 の 形 態				計
	電 話	訪 問	相 談 日	そ の 他	
医療・健康	0	0	0	0	0件
福 祉	0	1	0	0	1件
家 族	0	1	1	0	2件
そ の 他	0	0	10	0	10件
計	0	2	11	0	13件

ウ 緊急時対応

緊急時対応は「緊急時対応マニュアル」に基づき、電話及び訪問により速やかに状況を確認し迅速適正に対応した。夜間及び休日の緊急時対応は、各シルバーハウジングとも警備会社に通報を委託し、連絡を受けた職員が迅速に対応した。

〈銅町住宅〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実報(時間内)	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2件
実報(時間外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2件
誤報(時間内)	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	5件
誤報(時間外)	2	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	6件
計	5	1	2	1	1	0	1	0	1	1	2	0	15件

〈薬師町住宅〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実報(時間内)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
実報(時間外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
誤報(時間内)	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3件
誤報(時間外)	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	4件
計	1	1	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	7件

エ 一時的家事援助

〈銅町住宅〉

- ・書類の記入, 蛍光灯の交換, 歩行器の油さし, すだれの調整, 国勢調査書の記入, 灯油詰替え, 鉢植え移動, 電話調整

〈薬師町住宅〉

- ・手足の爪きり, 湿布貼り, ゴミ袋の買い物, 電話機のコネクター挿し直し

オ 関係機関との連携

長寿支援課には, 毎月入退院者及び死亡者等の状況報告を行い, 生活状況や介護状況の悪化など困難なケースが発生した場合は, 連携を図り対応した。

〈銅町住宅〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
包括支援センター	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3件
サービス業者	0	0	1	1	0	0	0	2	1	2	2	1	10件
地域関係者	0	0	2	2	0	2	2	0	2	4	6	6	26件
長寿支援課	0	0	2	1	3	3	3	0	1	2	3	3	21件
住宅管理センター	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2件
その他	1	1	4	1	0	0	4	0	3	0	0	2	16件
計	3	1	10	6	3	5	9	2	7	8	11	13	78件

〈薬師町住宅〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
包括支援センター	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3件
サービス業者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2件
地域関係者	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	4件
長寿支援課	0	0	0	1	1	1	2	4	2	1	1	1	14件
住宅管理センター	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2件
その他	0	1	0	0	1	5	2	0	1	1	0	0	11件
計	0	4	3	1	3	7	4	4	3	2	3	2	36件

IX 居宅介護支援事業所どうまち

住み慣れた自宅での生活を継続できるよう、利用者や家族の思いに寄り添い、自立に向けたケアプランの作成を行った。また、地域包括支援センター、サービス提供事業者、関係機関、地域の方と連携し、利用者の支援体制構築に努めた。

平成28年3月から、山形市介護予防・日常生活支援総合事業が開始されたことに伴い、包括支援センターの委託を受けてケアプランの作成等を行った。

• ケアプラン作成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護件数	37	38	38	37	38	38	37	37	38	36	34	37	445件
予防件数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	5	82件
合計件数	44	45	45	44	45	45	44	44	45	43	41	42	527件

• 更新調査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	3	2	5	2	4	4	2	0	3	1	1	2	29件